

はじめに 講師からのメッセージ

米国企業の特許仕様書の読解

私が特許分野の事業に関わるようになったのは、日本アイアール(株)の矢間社長から、「米国特許の読解に多くの技術者や知財部員が困っているから、読解の解説書を作ってくれないか」という要請に始まります。その要請を受けて、米国企業特許仕様書を読んでみると、難しいことはなく、むしろそれまで私が経験してきた一般のビジネス文書よりもはるかに文章構造が厳格なため、読むに「やさしい」ものでした。表現がいささか特殊なクレームも、表記の法則さえ理解すれば、特に難しいものではない事がわかりました。

ジャパニッシュ

その頃、米国特許庁で審査官も経験した米国のパテント弁護士から、米国の特許事情を詳しく聞く機会がありました。雑談の中で、彼から、米国特許庁の審査官仲間では、日本企業からの出願審査が一番嫌われているという話を聞き、いささかショックを受けました。嫌われている理由を幾つも聞かされましたが、ひと言で言うと、英語文章がひどく、何が書かれているのか分からないことが多いため、「ジャパニッシュとかジャパングリッシュ」と仲間内で呼ばれているところにありました。

日本企業の英文特許仕様書

その後すぐ、聞かされた話は本当かと思い、はじめて、日本企業各社の英文特許仕様書に目を通しました。話は本当でした。文章が意味不明であるだけでなく、記述が論理的な流れになっていないため、読むに耐えない仕様書を数多く目にするようになりました。

米国での侵害訴訟敗退とその原因

同時に、米国において、数多くの日本企業が侵害訴訟攻撃にさらされ、そのほとんどに敗れて多額の賠償金を払わされているという事実も知りました。自社の発明技術が明確に述べられていない特許仕様書では訴訟に対抗できないのは当然であると思い、なぜ、このような仕様書が米国に出されているのか、その本流を探るべく、国内の特許明細書を、初めて真剣に読んでみました。驚いたことに、何が述べられているのかわからない、スサマジイ日本語のオンパレードで、気分が悪くなるほどでした

日本アイアール(株)

「英文特許仕様書改善マニュアル」

これらの経験と分析を、2006年の1年間、日本アイアール主宰の「世界に通用する特許仕様書を作ろう」と題した6回のセミナーで発表し、その内容を整理追加して、2007年春、「英文特許仕様書(明細書)“改善”マニュアル」と題して出版しました。

権利防衛から世界展開の軸へ

これは、発明技術の権利は、現行のような英文特許仕様書では守れないから「改善」しようと警鐘を鳴らすものでした。その後、激変する世界市場の様相を眺めていると、日本企業は、従来からの国内市場での競争プラス製品輸出・現地生産の延長線上だけでは、対処し切れないと考えるようになりました。

すなわち、知的財産、特にその中核である特許を軸に世界に出て行く必要があります、それは単に発明権利を守るためだけではなく、特許そのものを直接収益に結びつける戦略が必要であると考えようになりました。このことは、特許仕様書は国内向け明細書をまず作成するやり方から、世界に出願することを優先したプロセスに転換しなければならないことにつながります。

セミナーに参加いただきたい方

そのためには、明確・明快な英文特許仕様書を作る必要があります、その作成の理念とプロセスをこのセミナーで確認し、ディスカスできることを願い、特に次の方々に参加いただきたいと思っています：

- ・自社技術を核にして世界市場での展開を行い、あるいは計画されている、特に中堅企業の、知的財産関連のリーダー、
- ・大学・独立行政法人において、世界への技術移転を本気で検討されているTLO関連のマネージャー、
- ・自社のグローバル展開とこれまでの国内特許優先の間の矛盾に疑問をもっている知的財産関連のリーダー。

篠原 泰正

講師(篠原泰正)略歴

1965年 早稲田大学政経学部経済学科卒

1970年－株式会社リコー

商品企画、事業企画、経営企画に従事

1992年－Logitech Inc.(欧米資本のパソコン周辺機器メーカー)

本社バイス・プレジデント

兼日本法人(株)ロジケール代表取締役

1998年－(現)株式会社アゴスタ代表取締役

日本アイアール(株)知的財産活用研究所顧問

日本アイアール(株)

USパテント読解講座 コンセプトブック 添付

1. 英文の構造
2. モジュール式読解サンプル集
ー英文を縦に読むー
3. 英語に関する考察
4. USパテントサンプル(IBM)

2002年秋季
USパテント読解講座

英文の構造

—添付資料—

USパテント読解講座では、英語の文章を構造的に把握し、記述の順序のとおり内容を理解していくことを提唱しています。

文章を構成しているパーツ(部品＝単語)の機能あるいは性質から分析した文法(ここでは仮に機能文法と呼びます)を学ぶことは、往々にして英語は難しいという印象を学習者に与え、学習意欲を削ぐマイナスの結果を与えかねません。

*いわゆる8品詞を軸にその機能説明が先に立つ教え方:名詞、代名詞、動詞、形容詞、副詞、前置詞、接続詞、感嘆詞、更には助動詞、自動詞、他動詞、形容動詞、関係代名詞、関係副詞、等々

この単語は形容詞か副詞かなどといったことに囚われていては、たくさんの文書をドンドン読んで行くことができないばかりか、読んだ文章を手本にして自分でも書いて行こうというステージに向かえません。

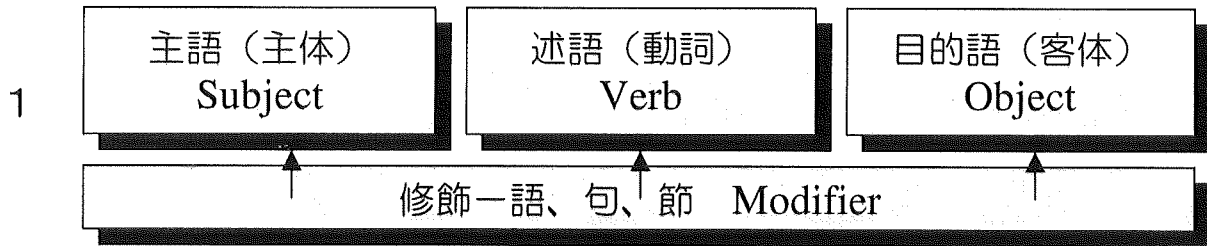
この講座では、英語の基本構造は、S(Subject:主体)とV(Verb:述語或いは動体)とO(Object:客体または対象)およびそれらを更に補助的に説明しているM(Modifier:修飾体)から成り立っていると割り切って、進めています。

以下に、このアプローチの参考として幾つかのサンプルを添付します。

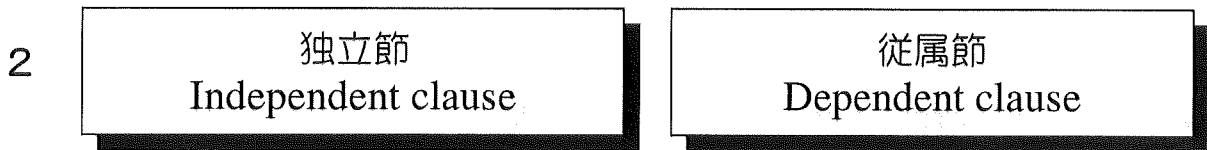
1. 英文の構造—5つの視点から見る
2. 構成要素から眺める
3. 主節と関係節の関係から眺める
4. 記述の流れから眺める
5. 記述概念を図形化して読む
6. 特許請求範囲を構造的に読む

英文の構造

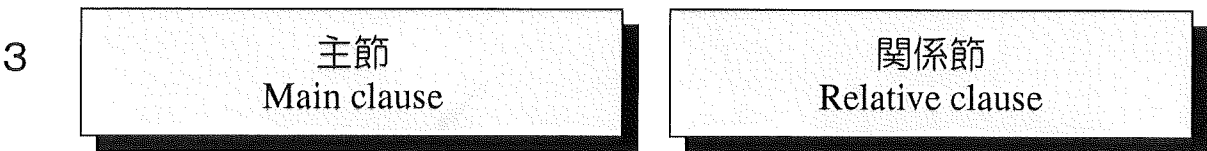
5つの視点から見る



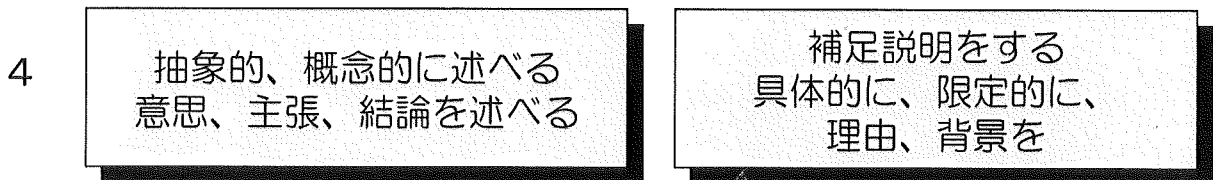
文法上の構成要素から見ると: 主たる要素は主語、述語、目的語の3要素で構成されており、それ以外は全てその3要素のいずれかを修飾(説明)する語/句/節である



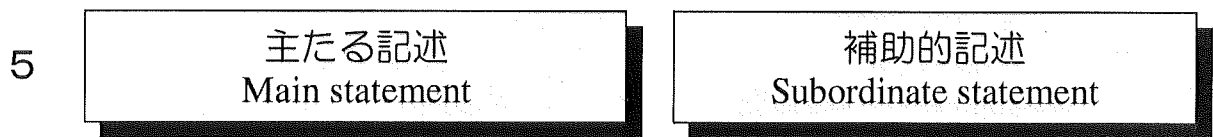
2個以上の文章の合成構造から見ると: 合成文(compound sentence); 独立節+独立節、複合文(complex sentence); 独立節+従属節、およびその2種の混合タイプである。



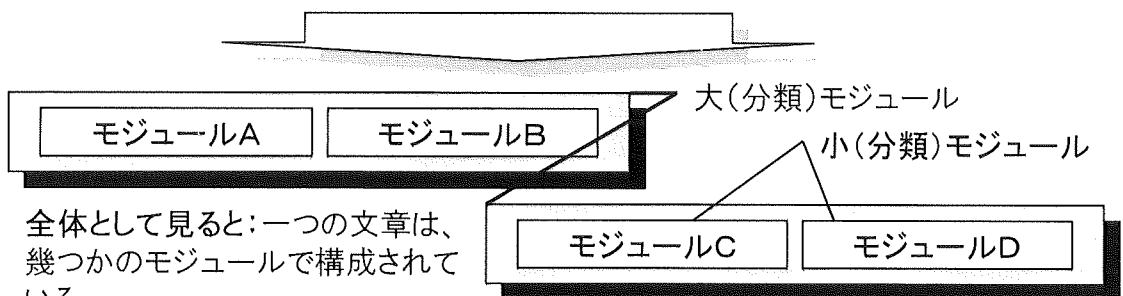
関係詞で接合された文章を見ると: 主節と、その主節の記述に関係する事柄を更に具体的に説明している関係節で構成されている。



記述の流れから見ると: 先ず意思や概念を述べ、その後からその背景や理由を具体的に述べる順序が基本である。この順序は、句や節の内部でも同様である。



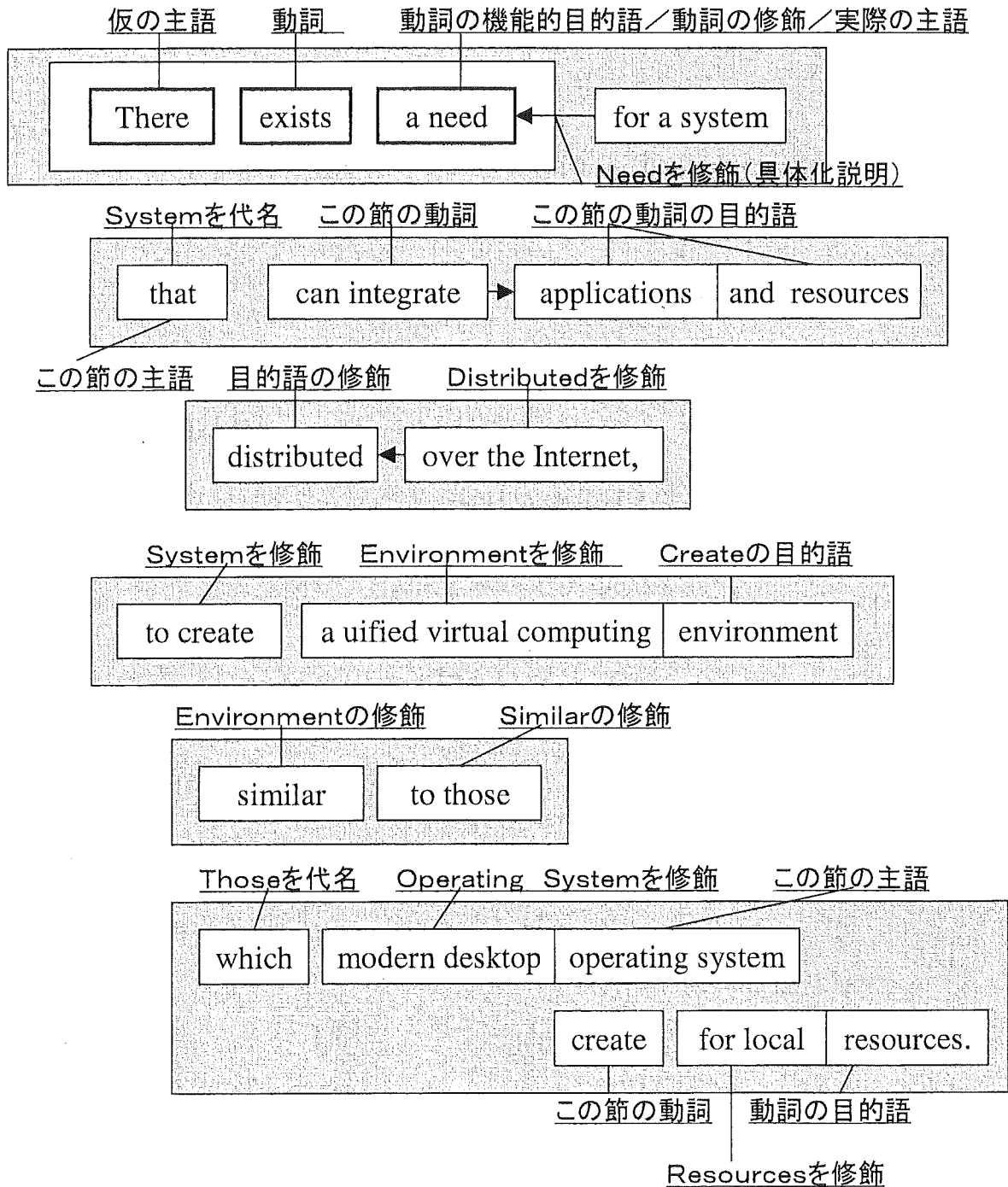
記述の内容から見ると: 主たる記述部分と補助的説明部分で構成されている。



文法上の役割構成要素から眺める

文章の主たる要素—主語、述語(動詞)、目的語—の他はそれらを修飾する語、句、節である。

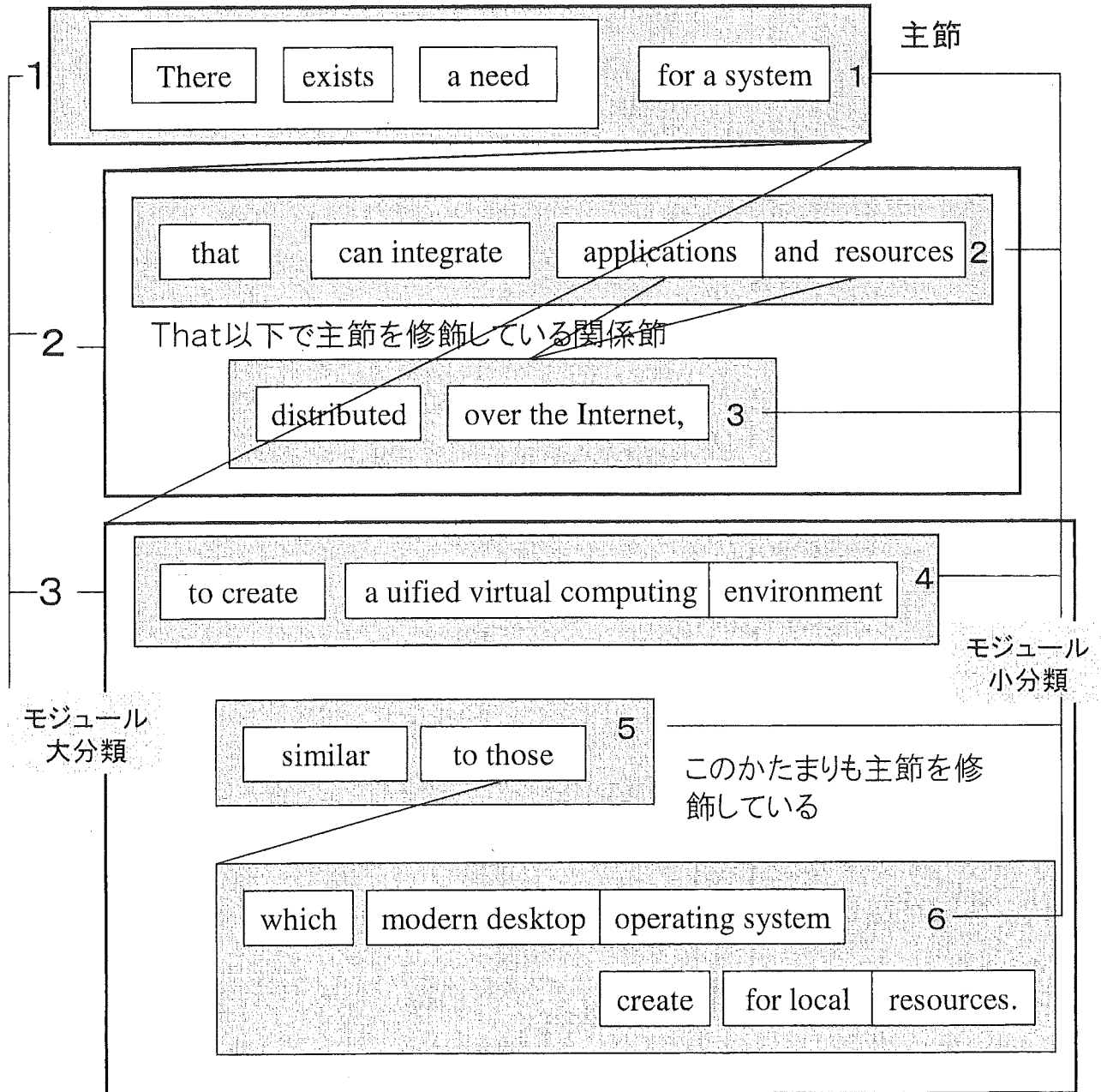
There exists a need for a system that can integrate applications and resources distributed over the Internet, to create a unified virtual computing environment similar to those which modern desktop operating systems create for local resources.



主節と関係節の関係から眺める

一般的には、文法上の主節は内容的にも主たる事項の記述とみなせるが、下の例文のように、主節が全く抽象的、概念的に記述されている場合には、以下の節の具体的説明を外すことはできない。

There exists a need for a system that can integrate applications and resources distributed over the Internet, to create a unified virtual computing environment similar to those which modern desktop operating systems create for local resources.

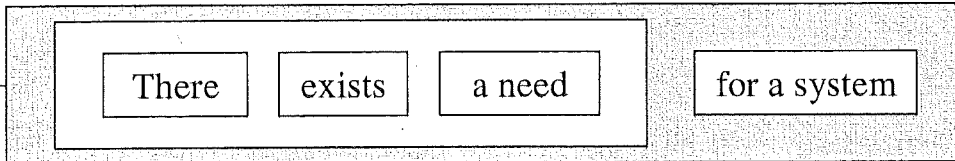


記述の流れから眺める

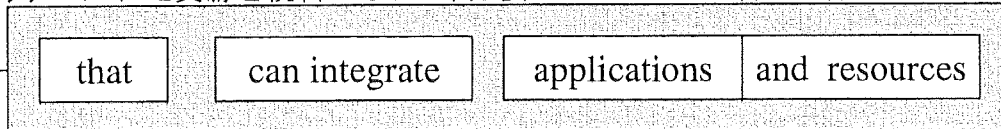
先ず抽象的に、概念的に記述し、その後から、その概念や事柄を具体的に述べていく。
更に、その具体的説明の補足的説明を付け加えていく。

There exists a need for a system that can integrate applications and resources distributed over the Internet, to create a unified virtual computing environment similar to those which modern desktop operating systems create for local resources.

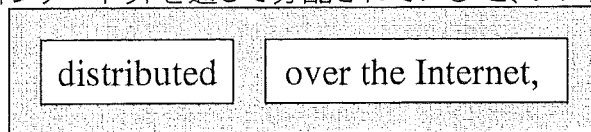
“システムが必要である”と、抽象的にあるいは概念的に先ず記述している



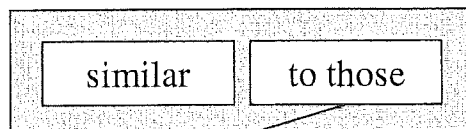
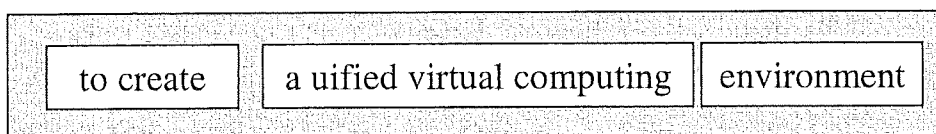
“アプリケーションと資源を統合できる”と、必要なシステムの内容を具体的に述べている



更に追加的に“インターネットを通して分配されている”と、アプリと資源の状態を述べている

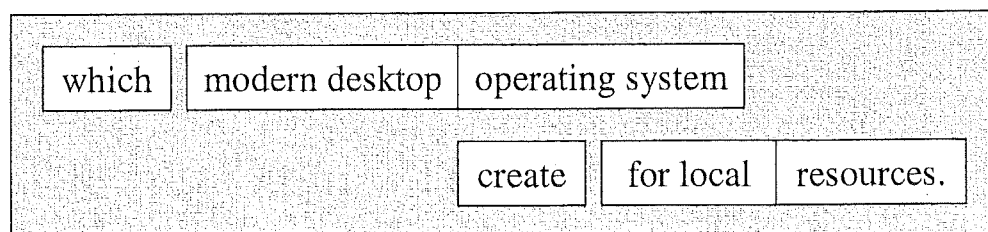


“統合された仮想のコンピューティング環境を創造するための”と、必要なシステムの内容を、「目的」の観点から述べている。上記のThat以下は「何ができる」かについて述べており、従って、To Create以下はThat以下と同格の主節への説明とみなせる。



上記のEnvironmentを具体的に説明するために、“以下のものと同様な環境”と、補助的説明を加えている。

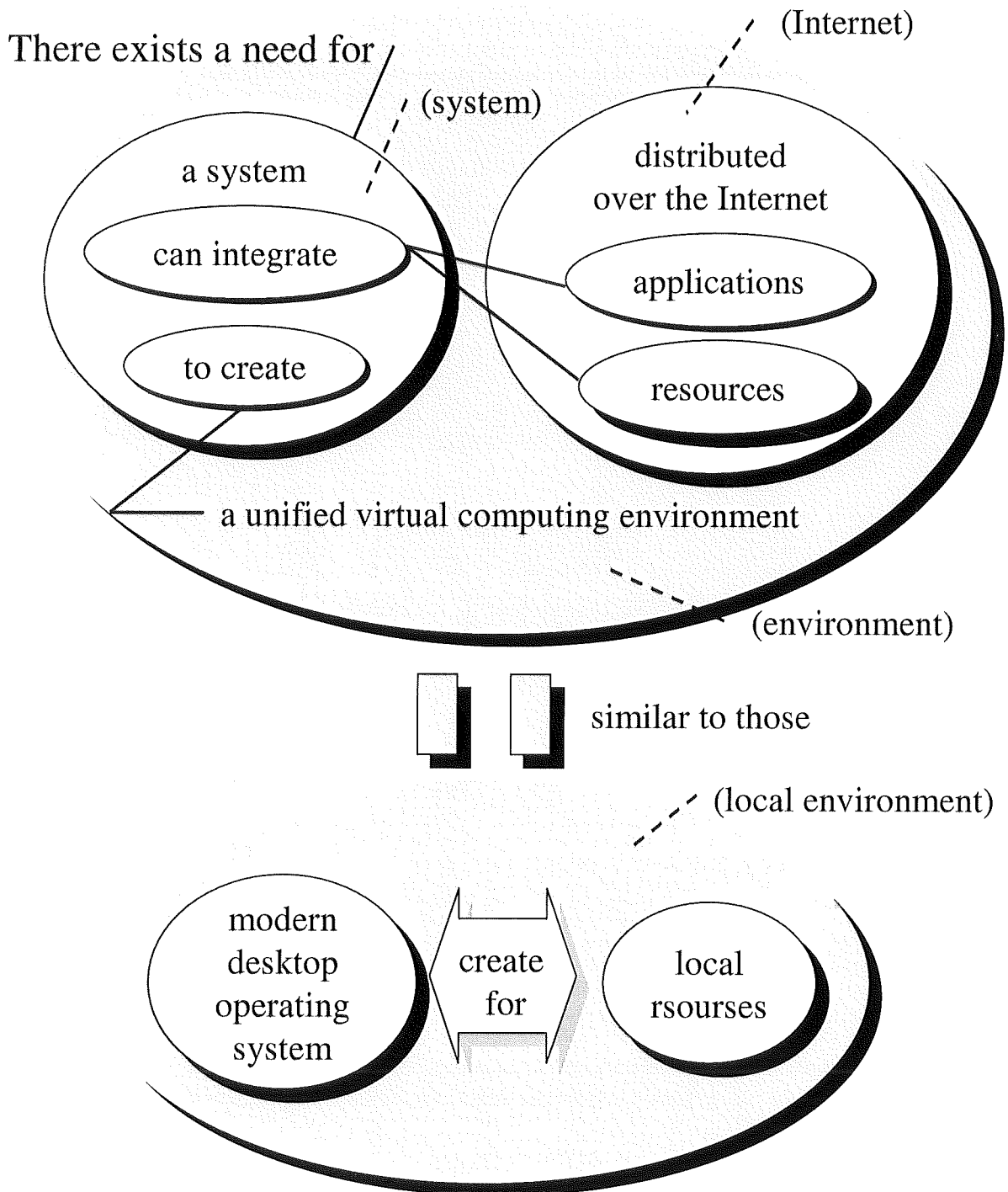
Which以下を代名している



“現在のデスクトップ上のオペレーティングシステムは、ローカル(デスクトップ環境)な資源に対しては、統合された仮想のコンピューティング環境を創り出している”と認識して記述されている。

記述されている概念を図形化して読んでみる

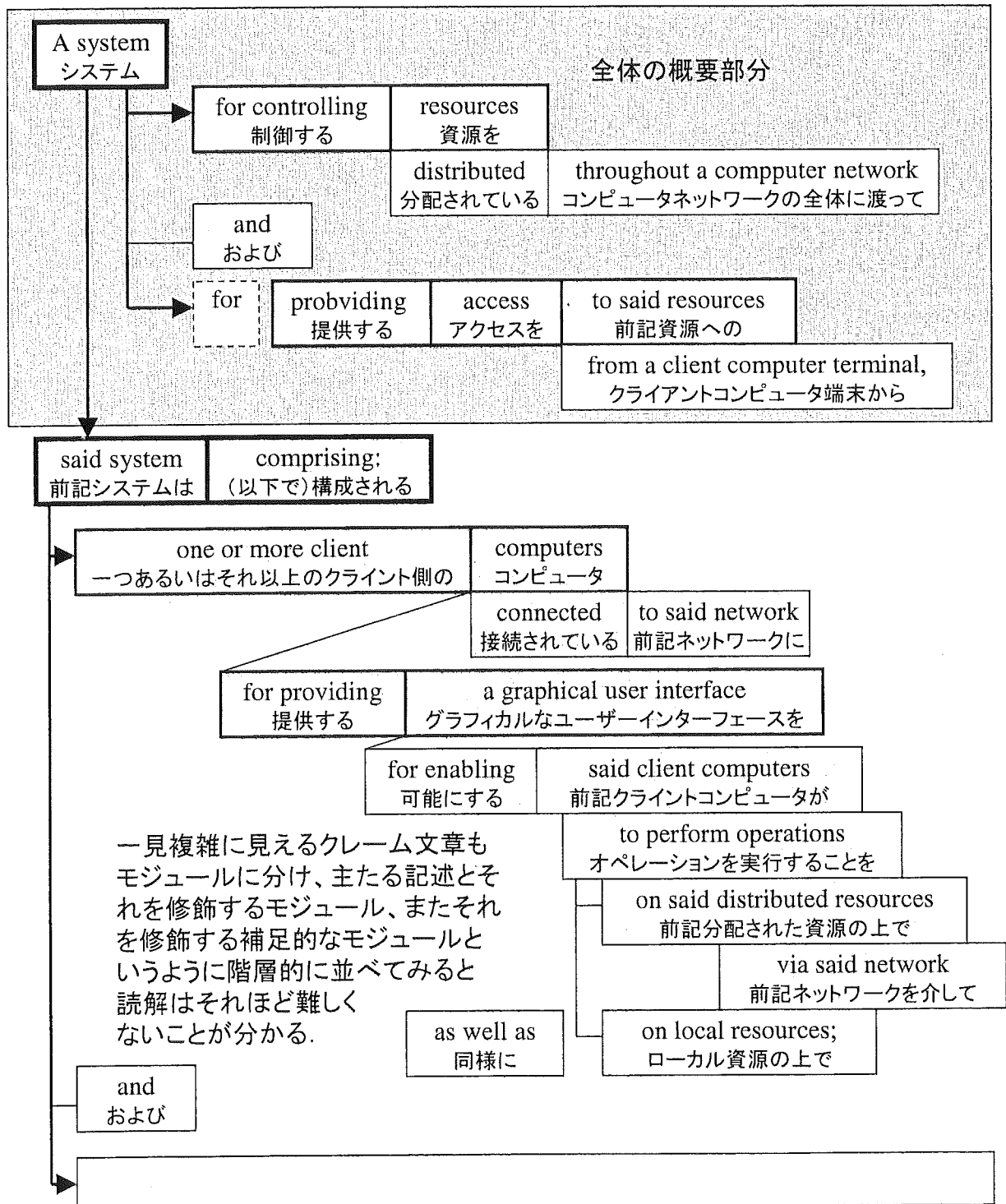
モジュールに分けて記述の流れの順序で読んでいけば、書かれている概念や事柄をイメージ化して内容を把握していくことができるようになる。



Claim(特許請求範囲)を構造的に読む

IBM USP 6341314 より

A system for controlling resources distributed throughout a computer network and providing access to said resources from a client computer terminal, said system comprising: one or more client computers connected to said network for providing a graphical user interface for enabling said client computers to perform operations on said distributed resources via said network as well as on local resources; and



特許原文のサンプル
US Patent 6,341,314

The object of this invention is to provide a web-based operating system that gives its users general access to arbitrary resources distributed throughout a public network of computers, specifically the Internet.

The object is achieved using the same or similar visual techniques of direct manipulation that are commonly provided in modern personal computing operating systems.

The users of the system have their own web-based data storage subsystems and file management tools that allow them to register web-based applications, set preferences and profiles, run applications, share files and folders to provide full interactivity as they would do on a desktop machine running a particular operating system.

The invention increases the flexibility of the Internet by introducing means for integration of data, applications and resources dispersed over the network.

It consists of a software module hereinafter referred to as "WebTop" which executes on the user's client workstation, and a software module hereinafter referred to as "WebBase" which executes on a Web server and responds to various WebTop requests.

The function of the WebTop is to provide a graphical user interface through which users may perform common "desktop" operations, such as invoking applications, copying files, and setting sharing attributes of files, and translate them to the operations that are appropriate for the resources that are the target of the request.

米国特許を読む

－モジュール式読解サンプル(1)－USパテント講座より抜粋

SUMMARY OF THE INVENTION

【発明の概要】

The object of this invention is to provide
a web-based operating system

that gives its users
general access to arbitrary resources
distributed
throughout a public network of
computers,
specifically the Internet.

The object is achieved
using the same or similar visual
techniques
of direct manipulation
that are commonly provided
in modern personal computing
operating systems.

The users of the system have
their own web-based data storage
subsystems
and file management **tools**
that allow them
to register
web-based applications,
set preferences and profiles,
run applications,
share files and folders
to provide full interactivity
as they would do
on a desktop machine
running a particular operating system.

本発明の目的は
提供することにある
ウェブ・ベースのオペレーティングシ
ステムを
(それは)そのユーザに与える
任意の資源への一般的なアクセスを)
分配されている
コンピュータの公共のネットワークの
全体にわたって
特にインターネットで

目的は達成される
同じかあるいは同様の視覚的な技
法を用いて
直接の操作によつての
それは、一般的に提供されている
現代のパーソナル・コンピューティ
ング・オペレーティングシステムで

システムのユーザは、
持っている
自分自身のウェブベースのデータ保
管サブシステムを
そして、ファイル管理ツールも
それらは彼らがすることをみとめる
登録することを
ウェブベースのアプリケーションを
好みとプロフィールを設定することを
アプリケーションを走らせることを
ファイルとホルダをシェアすることを
十分な相互作用性を提供するため
彼らが行なうように
デスクトップ上で
特定のオペレーティングシステムを
走らせている

The invention increases the flexibility of the Internet by introducing means for integration of data, applications and resources dispersed over the network.

本発明は、増大さすインターネットの柔軟性を手段を導入することでデータ、アプリケーションおよび資源の統合のためのネットワーク上に分散している

It consists of a software module hereinafter referred to as "WebTop" which executes on the user's client workstation,

それは(以下から)成るソフトウェア・モジュール以下で「ウェブトップ」と称される(それは)実行するユーザのクライアント・ワークステーション上で

and a software module hereinafter referred to as "WebBase" which executes on a Web server and responds to various WebTop requests.

そして、ソフトウェアモジュール以下で「ウェブベース」と称される(それは)実行するウェブサーバ上でそして、応答するさまざまなウェブトップの要請に

The function of the WebTop is to provide a graphical user interface through which users may perform common "desktop" operations, such as invoking applications, copying files, setting sharing attributes of files, and translate them to the operations that are appropriate for the resources that are the target of the request.

ウェブトップの機能は提供することにあるグラフィカル・ユーザ・インタフェースそれでもってユーザは実行することになる一般的な「デスクトップ」操作を例えばアプリケーションを呼び出すこと、ファイルを複製すること、ファイル属性の共有をセットすること、そしてオペレーションにそれらを翻訳する、(それは)資源に適切であり(それは)要請の目標である。

ヘミングウェイ原文サンプル

During the time that Pablo had ridden back from the hill to the cave and the time the band had dropped down to where they had left the horses Andres had make rapid progress toward Golz's headquarters.

He had never seen an offensive or any of the preparations for one before and as they rode up the road he marveled at the size and power of this army that the Republic had built.

Gomez leaned the motor-cycle against the wall as a motor-cyclist in a leather suit, showing against the light from inside the building as the door opened, came out of the door with a dispatch case hung over the shoulder, a wooden-holstered Mauser pistol swung against his hip.

ヘミングウェイを読む
—モジュール式読解サンプル(5)—

For Whom the Bell Tolls 「誰がために鐘は鳴る」
Ernest Hemingway chapter 42

During the time
that Pablo had ridden back
from the hill to the cave
and the time
the band had dropped down
to where they had left the horses
Andres had make rapid progress
toward Golz's headquarters.

その頃
パブロが馬に乗って戻ってきた
丘陵から洞窟へ
そして、その頃
一団が降りて行った
馬をつないでおいたところへ
アンドレスは急速な進捗を示していた
ゴルツの司令本部に向かって

He had never seen an offensive
or any of the preparations for one
before
and as they rode up the road
he marveled at the size and power
of this army
that the Republic had built.

彼は攻勢を見た事がなかった
あるいはその攻勢へのそのような準備を
かつて
そして彼らが道路をさかのぼっている時
彼はその規模と力に感嘆した
この軍隊の
共和国が作り上げた

Gomez leaned the motor-cycle
against the wall
as a motor-cyclist
in a leather suit,
showing against the light
from inside the building
as the door opened,
came out of the door
with a dispatch case
hung over the shoulder,
a wooden-holstered
Mauser pistol
swung against his hip.

ゴメスはオートバイを寄り掛けた
壁に
(その時)オートバイ兵が
皮のジャケットを着た
光を背にして(姿を)見せている
ビルの中からの
ドアが開いたとき
ドアから出てきた
伝令ケースを持った
肩から掛けた
木製のホルスターに納められた
モーゼルピストル(を持った)
腰のところで揺れている